

7月24日 毎日新聞

# 「事業者の生の声聴いて」

## 宿泊税導入巡り 宮津市に説明会要望

宮津市が宿泊税導入を検討していることを巡り、宿泊事業者でつくる「宿泊税による影響を心配する会」（矢谷文秀代表）は23日、市内に119ある全宿泊事業者を対象とした説明会を開催するとともに、宿泊税導入でどのようなリスク、負担が生じるのか明らかにするよう城崎雅文市長に申し入れた。現在、市が設置した検討委員会の議論が最終段階にあり、検討委の結論が出る前に「事業者の生の声を聴く場を設けてほしい」と訴えた。

日本三景の天橋立がある宮津市は観光を主

産業と位置づけている。観光振興に新たに年間2億円が必要とし、宿泊者1人当たり200円の宿泊税を徴収する方針を示している。市は当初、検討委の答申を2025年度中に受ける予定で、25年9月に説明会を開催した。しかし、参加者からは「宿泊税だけでなく、飲食、土産店を含めて全体で負担すべきだ」などと強い反発の声が上がり、有志が36事業者の賛同を得て「宿泊税による影響を心配する会」を結成。宿泊税の白紙撤回を市に申し入れた。

城崎市長は矢谷代表らとの話し合いで、「われわれに情報不足のところもあった」と述べ、事業者から丁寧な話を聴き、検討委の答申は期限を設けない方針を示している。

市は今年2月～6月、希望する32事業者を対象に個別訪問して説明し、7月の検討委に事業者の意見を報告した。市によると、検討委がいつ最終報告をまとめるかはまだ決まっていないうが、市は答申を受けた後に事業者説明会を予定している。今回の申し入れを受け、事業者説明会の開催時期については検

7月30日 京都新聞

### 宮津市宿泊税 説明会開催を

反対の事業者要望

宮津市の宿泊税の早期導入に反対する宿泊事業者が27日、同市に宿泊全事業者に向けた説明会を開くよう要望した。

要望したのは、「宿泊税による影響を心配する会」。

要望したのは、「宿泊税による影響を心配する会」。

「する会」。導入に反対する署名を昨秋に市に提出し、36事業者が賛同したという。

市の防災施設（魚屋）での同会と市との懇談会で、同会は市宿泊税検討委員会が結論を出す前に事業者向けの説明会を地区別に持つよう求めた。市は個別に事業者を訪問

して対応していると、検討委の市への答申後に事業者向けの全体説明会を開くとした。

同会メンバーは「他の事業者の意見も参考にできる説明会を開くべき」「事業者が反対しているのに結論ありきで検討委の議論が進んでいる」と述べた。

（秋田久氏）

討するという。

矢谷代表は「宮津では宿泊者が減り、日帰り客が増えるなど情勢は刻々と変わっている。宿泊税を導入したらお客さんはどうなるのか、宿泊税を集める

【塩田敏夫】

われわれ事業者の身になって考えてほしい。市は結論を出す前にわれわれ事業者がどんな環境にあるのか、生の声を聴いてほしい」と求めた。